

♡ ことばの力 ♡ からだの力 ♡ こころの力

# 園長室だより

城南学園幼稚園 園長 太田友子 平成27年4月28日

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園



## 『見える幼稚園』をめざして！

新緑がまぶしい季節になりました。



城南学園自慢の「さつき」通り、見事に咲き誇っています。

ようやく、新入園児の子どもたちも幼稚園に慣れ始めたようです。泣き声もめっきり少なくなりました。

昨日まであんなに泣いていた子が、笑顔で「おはようございまちゅ」とご挨拶したりすると、感激します。「えらい！えらい！」、はじめての社会それが幼稚園です。とまどいや不安があって当然です。一日一日、積み重ねて、自分で乗り越えて、今日があるのです。小さな体と心をいっぱいいつかってチャレンジしているのです。その健気さに心打たれます。

今日は、年長児や年中児に手をつないでもらって、年少組の子どもたちは、大きなグランドまで散歩に行きました。手をつなぐ年長組さんの神妙な面持ちに、年下をいたわる気持ちが十分に表れています。誰かのお役にたちたい！その瞬間、ぐんと成長するのです。大切にしたい気持ちですね。

さて、ゴールデンウィークが始まりました。お天気に恵まれながらご家族で楽しい時間をお過ごしください。



4月23日(木)、クラス委員総会がありました。幼稚園の行事等で役員さんとともにご協力いただき皆様です。今年一年お世話になります。よろしくお願ひします。

5月1日(金)は今年度初めての保育参観です。落ち着きと温かみのある中で、子どもたちの姿をご覧いただけたらと願っています。いっぱいほめてあげてください。

「読み聞かせ」されていますか？

今回は、「3歳から5歳児の家庭での読み聞かせ」の現状についてお話します。

ある調査では、絵本や本の読み聞かせ頻度について、「ほとんど毎日」している割合は、年少 31.8%、年中 25.5%、年長 17.8%でした。子どもの年齢が上がるにつれて読み聞かせの頻度は少なくなっていくと見えます。読み聞かせをしている人に対して、1日あたりの平均時間を聞くと、どの年児も5分から15分が約半数占めますが、「5分未満」は年少 17.7%、年中 21.4%、年長 26.1%と増加しており、1日あたりの読み聞かせの時間も、年齢が上がるに連れて短くなっていくことが分かりました。

一方、子どもが一人で読む頻度については、年齢にかかわらず約3から4割の子どもが毎日一人で絵本などを読んでいきます。また、質問に答えたり、説明を加えたりするなど子どもの様子に寄り添いながら読み聞かせをしている人は約半数いました。皆さんのお家ではいかがでしょうか？



さて、幼稚園で絵本の読み聞かせをしてもらう機会が増えるので、乳児期のように家庭で読み聞かせの時間を設けなくてもよいと考えたり、文字を読めるようになるので、もう読み聞かせをしなくてもいいと考えたりする方もおられるようです。

読んでいる人や聞いている人たちと絵本の世界を共有することができ、絵本を読んでもらうそのプロセスに楽しさを感じられるのが、読み聞かせの魅力。

私自身もが、うとうとしながら添い寝して読み聞かせたことをなつかしく思い出します。今孫たちは、自分で2冊、時には3冊と読んでもらう絵本を選ぶ楽しさを感じ始めており、旅行に行くときも必ず絵本を持っていくほど大好きになっています。

お話の世界を想像したり、余韻を楽しんだり、豊かな心が育まれる瞬間、それが読み聞かせです。